はじめに

（令和２年度事業の概要）

１．背景

近年、我が国における交通事故死者数は減少傾向にあるものの、交通事故が国民全体の重大な問題であることに変わりはない。そして、交通事故による被害者やその家族・遺族は、事故後、深い悲しみやつらい体験から、様々な悩みを抱えながらの生活を強いられており、交通事故被害者等に対する支援の一層の充実が必要である。

２．目的

交通事故被害者等（交通事故に遭った被害者やその家族・遺族をいう。以下同じ。）が、深い悲しみやつらい体験から立ち直り、回復に向けて再び歩み出すことができるような環境を醸成し、交通事故被害者等の権利・利益の保護を図ることを本事業の目的とする。

３．事業の概要（敬称略）

（１）交通事故で家族を亡くした子供の支援に関するシンポジウム

（令和２年 12 月 18 日（金）・オンライン開催）

子供の頃に交通事故で家族を亡くした子供の支援に向けて、広く一般に情報提供することを目的として、シンポジウムを開催した。

●対応事例「交通事件できょうだいを亡くした子どもに対する心理的支援の事例
－複数事例を組みあわせた架空事例からー」

講師：目白大学心理学部心理カウンセリング学科専任講師、（公社）被害者支援都民センター犯罪被害相談員　齋藤　梓

●講演「遺されたきょうだいの体験の特徴と支援の課題」

講師：栞の会代表　赤田　ちづる

●体験談の発表

遺族：河津　直樹（平成 20 年（当時 10 歳）、父を交通事故で失う）
河本　恭輔（平成 27 年（当時 20 歳）、姉を交通事故で失う）
児島　菜友香（平成 12 年（当時 16 歳）、兄を交通事故で失う）

●意見交換、質疑応答

コーディネーター：
飲酒・ひき逃げ事犯に厳罰を求める遺族・関係者全国連絡協議会幹事

井上　郁美

（令和２年度交通事故被害者サポート事業検討会委員）

専門家：

元同志社大学教授、現同大学刑事司法研究センター嘱託研究員

川本　哲郎

（令和２年度交通事故被害者サポート事業検討会座長）

（２）交通事故で家族を亡くした子供の支援に関する意見交換会

（令和２年 11 月 25 日（水）・オンライン開催）

子供の頃に交通事故で家族を亡くした子供の支援に向けて、関係者間の連携を強化し、意思の疎通を図るため、意見交換会を実施した。

●体験談の発表

遺族：岡根　真琴（平成 14 年（当時３歳）、父を交通事故で失う）

●専門的立場からの講演「子供のトラウマと支援」

講師：追手門学院大学心理学部心理学科准教授　櫻井　鼓

●意見交換

（３）自助グループ運営・連絡会議

（令和２年 12 月８日（火）・オンライン開催）

交通事故被害者等に接する立場にある者の資質の向上を図ると共に、交通事故被害者等の自助グループ（「同じような辛さを抱えた者同士が、お互いに支え合い、励まし合う中から、問題の解決や克服を図り、被害に遭う前の平穏な生活を再び取り戻す」ことを目的に集うグループのことをいう。以下同じ。）活動の促進や設立の支援に資することを目的として、ファシリテーター研修を中心としたプログラムを実施した。

●出席団体の課題発表

●ファシリテーター研修「ファシリテーターになろう！」

講師：（株）ひとまち代表取締役　ちょん　せいこ

●意見交換

本事業は、いずれも警察庁が株式会社アステムに委託して実施した。

なお、交通事故被害者等の支援に向けて、複数県の相談窓口関係者が一堂に会し、相互に学び意見交換を行うことにより支援業務の強化を図るための担当者会議は、本年度においては中止した。

注１）ここでいう交通事故とは、道路交通法第２条第１項第１号に規定する道路において、車両等及び列車の交通によって起こされた事故で、人の死亡又は負傷を伴うもの（人身事故）をいう。

４．検討会

（１）目的・内容

被害者学、心理学、被害者支援、遺族心理に関する有識者からなる交通事故被害者サポート事業検討会を設置し､令和２年度交通事故被害者サポート事業の実施方針､実施方法、事業総括等について検討する。検討会は、有識者７名の検討会委員により３回開催し、各事業の進捗状況の管理を行うとともに、事業報告書等を作成する。

（２）委員（敬称略・順不同）

・元同志社大学教授、
　現同大学刑事司法研究センター嘱託研究員　川本　哲郎（座長）
・飲酒・ひき逃げ事犯に厳罰を求める遺族・関係者全国連絡協議会幹事　井上　郁美
・国際医療福祉大学赤坂心理・医療福祉マネジメント学部心理学科教授、
　国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科臨床心理学専攻教授　白井　明美
・（公社）被害者支援センターとちぎ事務局長、
　（公社）全国被害者支援ネットワーク理事　和氣　みち子
・武庫川女子大学文学部心理・社会福祉学科准教授、
　武庫川女子短期大学部心理・人間関係学科准教授　大岡　由佳
・（公社）被害者支援都民センター犯罪被害相談員、
　（NPO 法人）いのちのミュージアム理事　中土　美砂
・警察庁交通局交通企画課交通安全企画官　平松　伸二（令和２年 12 月まで）
　警察庁交通局交通企画課交通安全企画官　髙清水　善弘（令和３年１月から）

（３）開催概要

①第１回検討会（令和２年９月 28 日（月）～10 月２日（金）・書面開催）

・令和２年度交通事故被害者サポート事業の実施方針及び実施方法等

②第２回検討会（令和３年１月 19 日（火）・オンライン開催）

ア　交通事故で家族を亡くした子供の支援に関するシンポジウムの実施結果報告
イ　交通事故で家族を亡くした子供の支援に関する意見交換会の実施結果報告
ウ　自助グループ運営・連絡会議の実施結果報告
エ　令和２年度交通事故被害者サポート事業報告書　目次案の報告

③第３回検討会（令和３年２月 26 日（金）・オンライン開催）

ア　令和２年度交通事故被害者サポート事業報告書最終案検討
イ　本年度事業総括

※各章における講演や体験談等の記述については、被害者等の方々の率直な思いを尊重してまとめたものです。また、掲載することにつき御本人の同意を得ております。